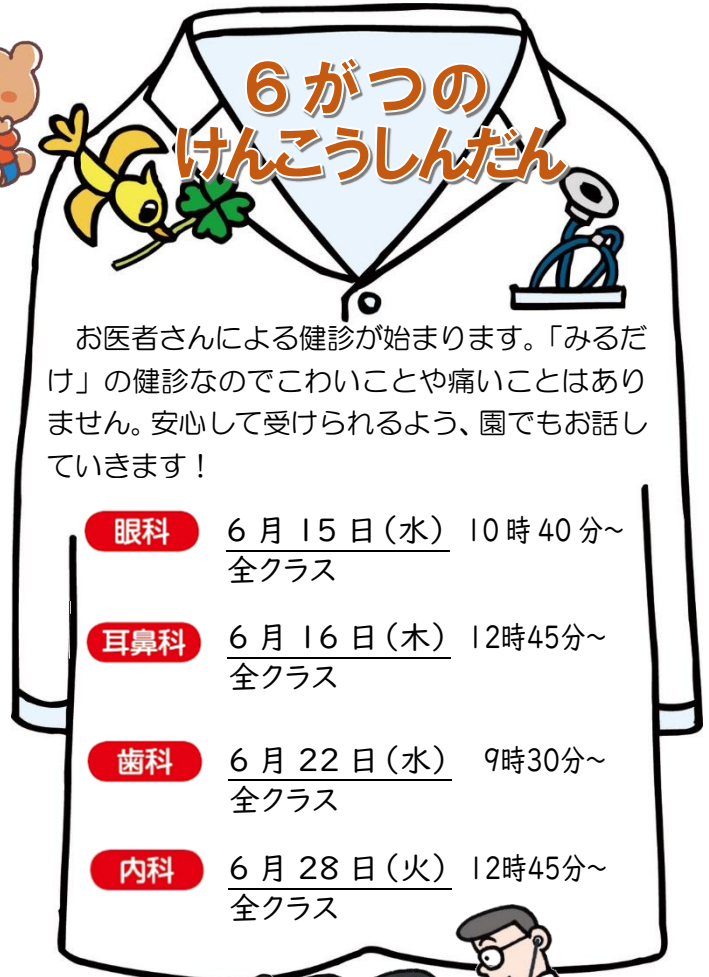




気持ちのよい季節になり、外遊びもどんどん増えてきています。急に暑くなる日があったり、肌寒い日があったりと気温の変化が大きくなっています。

服装にも悩む時期ですが、暑かったら脱ぐことができるといいですね。

また、外遊びでのすり傷も増えてきますので、できるだけ膝を守ることができる服装だと転んだ時も安心ですね。



眼科	6月15日(水)	10時40分~ 全クラス
耳鼻科	6月16日(木)	12時45分~ 全クラス
歯科	6月22日(水)	9時30分~ 全クラス
内科	6月28日(火)	12時45分~ 全クラス



マスク、どうしたら…!?

マスクについて、厚労省、文科省からの通知がありました。(別紙)

幼稚園では、これまで保護者の皆さまのご理解とご協力で感染拡大に至ることなく過ごせています。

基本的には通知の通りですが、お部屋の中でのマスクについては当面の間(気温や状況を見て再度検討します)これまで通り下記の理由からマスク着用をお願いを継続します。(これまでと同じように強制ではありませんので、何らかの理由がある場合はお知らせください)

- ・飛沫が飛び散るのを防ぐことができる。
- ・手で口や鼻を触ることを防ぐことができる。
- ・感染者が確認された場合、園における「感染の可能性のある方」として該当しないことが多い。「感染の可能性のある方」に該当すると、ある一定期間の健康観察、出席停止が必要となっています。

マスクの着用については、予防効果だけでなく、息苦しさや表情がわかりにくかったりと問題もあります。

その両面を考慮しながらも一日も早く子どもたちのいきいきとした表情をみながら過ごせるよう、安全安心を第一に検討していきたいと思っておりますのでご理解とご協力をお願いします。



附属幼稚園に来てくださるお医者さんは皆さんとてもやさしい先生ばかりですが、おうちの人がいない中でお医者さんとの対面はドキドキですよ。見ただけで泣いちゃう！なんてこともあります。でもジーンと順番をまっていたり、平気な顔で戻ってくるお友達を見ると「あれ！？だいじょうぶそう！」とわかり自信をもって受けられます！

ひとつ成長した子どもたちをほめてあげたいですね♪

6月4日は
虫歯予防デー

脳の働きが
活発になります

かむことは大切

あごの骨や
筋肉の成長を
助けます



だ液の分泌が
盛んになり、
消化を助けます

歯肉に刺激が伝わり、
歯を支えている骨や組織が
丈夫になります

だ液の分泌により、
食べかすが歯に付くのを
防ぎます

いい姿勢で一口30回かんでみましょう！

硬いものを強い力でかむことよりも、たくさん口を動かしてかむ回数を意識した方が口の周りの血液量が増え、筋肉も刺激されるため、あごの成長も促します。

始めは10回、そして20回と無理せず、少しずつ増やしていきましょう。

よくかむためのプロ工夫

よくかんで食べると、だ液がたくさん出ます。だ液は、消化吸収を助ける他、食べかすを洗い流してむし歯を防ぐ効果とも言われます。

「よくかむ」ことは大切ですが、かむことを意識しながら食べているでしょうか？

幼児期の食べる時にできるちょっとした工夫があります。

【じゅんび】

- 背筋を伸ばして姿勢をよくする
→ 下あごの筋肉と首筋、胸、背中中の筋肉は連動していますから背筋が伸びているとしっかりかむことができます。
- 足が床についている
→ 足が床につくということは、安定した姿勢であごにも力が入り、しっかりかめるようになります。

【ポイント】

- 一度にたくさん口の中に入れない
- 飲み物で流し込まない
- かんでいる間は一度、はしを置いてみる

歯みがき中の事故を防ぐ3か条

歯みがき中に、歯ブラシで口の中やのどにけがをする事故を防ぐための3か条を紹介します。歯みがき中の子どもが大人に抱きつき、歯ブラシが刺さるといった事故もあります。

子どもが落ち着いた雰囲気ですぐ歯をみがけるよう気をつけてください。



① 歩かない

歯みがき中の事故で最も多いのが、歩いたり走ったりして転ぶケース。歯みがきをする場所を決めておきましょう。踏み台から転落する危険があるので、歯みがき中は座らせると安心です。



② 遊ばない

歯みがき中にほかのことをするのは危険です。事故の中には「寝転んで歯みがき」「ソファに立って歯みがき」など、歯みがきのように実際は遊びになっているケースが少なくありません。

③ 手を離さない

歯ブラシから手を離すのは、すでに歯みがき以外のことをしているサイン。「歯みがき中は歯ブラシをしっかり持って」と伝えましょう。